



# つながぎ つむぐ

☆☆☆☆☆☆☆☆ 「えべつ型コミュニティ・スクール」

令和7年1月24日

第51号

江別市教育委員会

総務課・学校教育課

## 系統性を意識した指導 読み取った内容を朗読に生かす

### ～大麻中学校区 中学校国語科の先生の乗り入れ授業～

12月9日（月）、10日（火）、12日（水）に大麻中学校の国語科の先生が中学校区内の小学校（大麻西小、大麻小、文京台小）に乗り入れて、6年生に対して授業を行いました。授業の題材は「朗読をしよう～読み取った内容を声で表現する」です。初めに、小学校1年生の国語科の教科書に出てくる「大きなかぶ」をクラスみんなで朗読しました。読む人数を減らしていく読み方と増やしていく読み方を体験し、「大きなかぶ」の内容からするとどちらの読み方がよいかを考えました。

次に、「とうとう かぶは ぬけました」のどこを強調して読むかを考えました。子どもたちは、かぶを抜くのに人数や時間がかかったことから、「とうとう」が強調するところだと気づきます。また、強調したい場合は、抑揚や強弱、高低、間のとり方を工夫するとよいことを学びました。

その後、小学校3年生の国語科の教科書に出てくる「俳句」を題材にして、6つの俳句から好きな作品を選び、強調する部分とその理由について考えました。同じ俳句を選んだ友達と対話し、強調する部分と理由について確認したり、友達の考えを参考にしたりしていました。授業が終始楽しい雰囲気の中で進められ、子どもたちは生き生きと学習に取り組んでいました。授業の最後には、一人一人がタブレット端末に振り返りを入力しました。

中学校の先生が小学校の教科書の内容を把握し、小学校で学んだことを踏まえて中学校の国語科の内容を学習するように授業が構成されており、中学校区内の教科部会での協議や教科系統表の内容を考慮した実践でした。

授業の最後に、中学校の先生が、国語科の学習を通して「自分の考えを持ち、言葉で表現すること」や「中学校進学後も、新しい友達と学び合い、表現の幅や解釈の幅を広げていくこと」を目指してほしいと学習のまとめを行いました。

乗り入れ授業は、入学前に中学校の先生の授業を受けることで、教科の学習の雰囲気を体験することができ、小中一貫教育の具体的な効果として挙げている「中1ギャップの緩和」や「学習意欲の向上」等が実感できる取組です。今回の乗り入れ授業でも、子どもたちは中学校での学習を楽しみにし、入学に向けて前向きになるような実践となりました。



大麻西小での乗り入れ授業



大麻小での乗り入れ授業



文京台小での乗り入れ授業

# 確かな学力と豊かな心を育む国語科学習

## ～野幌中学校区の先生が全員参加し、学び合いました～

### 野幌若葉小学校 江教研学校課題研究発表会の開催

12月6日（金）に野幌若葉小で江別市教育研究会の学校課題研究発表会が行われました。野幌若葉小では、令和4年度からの3カ年計画で、国語科を窓口にして、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の充実を図る授業づくりを通して、「主体的に学び、確かな学力を身につけた子ども」「他者を尊重し、互いに学び高め合う子ども」を育てる校内研究に取り組んできました。当日は、野幌中学校区の野幌小、東野幌小、野幌中の先生方が全員参加する等、市内124名の先生方が集い、授業での子どもたちの姿をもとに研究協議を行いました。研究発表会は校内研究主題の解明が主たる目的ですが、野幌中学校区内の先生方が参加することで、研究の相互理解や授業改善、「系統的な指導」や「一貫した指導」等にも資するものとなりました。また、学習指導案には、「指導と評価の計画」の中に、小1から中3までの系統性が記述されており、中学校区内の「系統的な指導」を意識して授業づくりが行われていました。



特設公開授業の様子



研究協議の様子

## 小中9年間の教科の系統性を考慮

### ～「系統的な指導」を意識した学習指導案～

各学校では、児童生徒の実態に合わせて課題解決のための主題や仮説を設定し、授業実践を通して、その課題が改善されているかを評価・改善していく「校内研究」に取り組んでいます。江別市では、昨年度から小中一貫教育を導入していることから、中学校区の児童生徒の実態から浮かび上がる重点指導事項等を反映した教科系統表や年間指導計画等を参考にして、学習指導案に単元や領域の系統性を明確にして指導に生かす取組が進められています。

	思考力・判断力・表現力等 B書くこと
小学校 1年生	<ul style="list-style-type: none"> <li>平仮名で自分の名前を書く</li> <li>主語述語のみの文の一つを作る</li> <li>観点を決めて観察記録を書く</li> <li>理由も入れて文を二つ作る</li> <li>体験したことを報告する文を書く</li> <li>見つけたことを知らせる文を書く</li> <li>「は」「を」「へ」の関連いを直す</li> <li>簡単な構成を考えて説明する文を書く</li> <li>友達のことを紹介する文を書く</li> <li>手紙を書く</li> <li>1年間の思い出の中から簡単な構成を考えてカードに書く</li> </ul>
2年生	<ul style="list-style-type: none"> <li>日記を書く</li> <li>観察記録文を書く</li> <li>「初め」「中」「終わり」の組み立てて報告する文を書く</li> <li>事納の順序を考えて説明する文を書く</li> <li>「初め」「中」「終わり」のまよりに分けて物語を書く</li> <li>語を書く</li> <li>友達に手紙を書く</li> </ul>
3年生	<ul style="list-style-type: none"> <li>行事の案内の手紙を書く</li> <li>組み立てて考えて報告文を書く</li> <li>例を挙げて説明する文を書く</li> <li>組み立てて考えて物語を書く</li> <li>お礼の手紙を紹介する文を書く</li> </ul>
4年生	<ul style="list-style-type: none"> <li>事実を分かりやすく伝える新聞を作る</li> <li>リーフレットを作る</li> <li>詩を書く</li> <li>理由や例を挙げて意見文を書く</li> </ul>
5年生	<ul style="list-style-type: none"> <li>俳句を作る</li> <li>調べたことを正確に報告する文を書く</li> <li>グラフや表を用いて説明する文を書く</li> <li>主張と根拠を入れた意見文を書く</li> <li>相手や目的に合わせた本の推薦文を書く</li> </ul>
6年生	<ul style="list-style-type: none"> <li>提案文を書く</li> <li>パンフレットを作る</li> <li>座右の銘にしたい言葉を経験と結びつけて書く</li> <li>伝えたい思いを明確にして書く</li> </ul>
中学校 1年生	<ul style="list-style-type: none"> <li>伝えたいことを明確にして説明する。</li> <li>情報を適切に引用する。</li> <li>詩を作る。</li> <li>情報を整理し、わかりやすい案内文を書く。</li> <li>読み手の立場に立って推敲する。</li> <li>根拠を明確にして自分の考えを伝える。</li> <li>助言を基に文章をよりよくなる。</li> <li>構成や描写を考えて、印象に残る随筆を書く。</li> <li>集めた情報からテーマを決める。</li> <li>故事成語を使って体験文を書く。</li> <li>根拠を明確にして、意見をまとめる。</li> <li>別の人物の視点から文章を書き換える。</li> </ul>
2年生	<ul style="list-style-type: none"> <li>多様な情報を集め、考えをまとめる。</li> <li>目的や意図に応じて、多様な方法で情報を集める。</li> <li>短歌を作る</li> <li>通信文（手紙、電子メール）を書く</li> <li>表現の効果に着目して推敲する。</li> <li>適切な根拠を選び、構成などを工夫して明確な意見文を書く。</li> <li>作品の魅力を効果的に伝える。</li> <li>構成を工夫して物語を書く。</li> <li>考えをわかりやすく伝える。</li> <li>自分流「枕草子」を書く。</li> <li>人物の特徴を捉えて論じる。</li> <li>作品の魅力をもとめ、語り合う。</li> </ul>
3年生	<ul style="list-style-type: none"> <li>文章の種類を選び、構成を工夫して魅力的な紙面を編集する。</li> <li>報道文と比較して読む。</li> <li>俳句を作って楽しむ。</li> <li>論理の展開に着目し、文章を整える。</li> <li>説得力のある批評文を書く。</li> <li>小論文で自分の考えを書く。</li> <li>文章の構成を工夫する。</li> <li>古典の言葉を用いし、メッセージを贈る。</li> </ul>

※野幌若葉小2年 国語科の学習指導案から抜粋

